

地域包括支援センター

ふたば地域包括支援センター運営規程

(介護予防支援)

(事業の目的)

第1条 社会福祉法人ふたば福祉会が開設するふたば地域包括支援センター（以下「センター」という。）が行う指定介護予防支援の事業（以下「事業」という。）の適正な運営を確保するために人員、管理運営に関する事項を定め、センターの保健師又は経験のある看護師、介護支援専門員、社会福祉士その他の職員（以下「担当職員」という。）が、要支援状態にある高齢者等（以下「利用者」という。）に対し、適正な指定介護予防支援を提供することを目的とする。

(運営の方針)

第2条 担当職員は、利用者の心身の特性を踏まえて、その利用者が可能な限りその居宅において、自立した日常生活を営むことができるように配慮して行う。

2 事業の実施に当たっては、利用者の心身の状況やその環境に応じて、利用者の選択に基づき、利用者の自立に向けて設定された目標を達成するために、適切な保健医療サービス及び福祉サービスが、当該目標を踏まえ、多様な事業者から、総合的かつ効率的に提供されるよう配慮して行う。

3 事業の提供に当たっては、利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立って、特定の種類又は特定の介護予防サービス事業者若しくは地域密着型介護予防サービス事業者に不当に偏ることのないよう公正中立に行う。

4 事業の提供に当たっては、懇切丁寧に行うことを旨とし、利用者又はその家族に対し、サービスの提供方法等について、理解しやす

いように説明を行う。

- 5 事業の運営に当たっては、関係市町村、他の地域包括支援センター、指定居宅介護支援事業者、他の指定介護予防支援事業者、介護保険施設、住民による自発的な活動によるサービスを含めた地域における様々な取組を行う者等との連携に努める。

(センターの名称等)

第3条 事業を行うセンターの名称及び所在地は、次のとおりとする。

(1) 名 称 ふたば地域包括支援センター

(2) 所在地 愛知県瀬戸市西山町1丁目46番地の18

(職員の職種、員数及び職務の内容)

第4条 センターに勤務する職員の職種、員数及び職務の内容は次のとおりとする。

(1) 管理者 1名(常勤)

管理者は、センターの担当職員その他従業者の管理、利用の申込に係る調整及び業務の実施状況の把握その他指揮命令等を一元的に行う。

(2) 担当職員

保健師又は経験のある看護師 1名以上

社会福祉士 1名以上

主任介護支援専門員 1名以上

担当職員は、指定介護予防支援の提供に当たる。

(3) 事務職員 若干名(非常勤職員)

必要な事務を行う。

(営業日及び営業時間)

第5条 センターの営業日及び営業時間は、次のとおりとする。

(1) 営業日 月曜日から土曜日までとする。

ただし、施設が指定する休日は除く。

(2) 営業時間 午前 9 時 0 0 分から午後 6 時 0 0 分までとする。
(指定介護予防支援の提供方法、内容及び利用料その他の費用額等)

第 6 条 指定介護予防支援の提供方法及び内容は次のとおりとし、指定介護予防支援を提供した場合の利用料の額は、介護報酬の告示上の額とする。

(1) 提供方法は、介護予防のための効果的な支援の方法（厚生労働省令第 3 7 号第 2 9 条から第 3 1 条の規定）に従って実施する。

(2) 利用者の相談を受ける場所は第 3 条に規定するセンター内とする。

(3) サービス担当者会議について

①開催場所は第 3 条に規定するセンター内、サービス事業所内又は自宅とする。

②サービス担当者会議の開催により、利用者の状況等に関する情報を担当者に対する照会等により意見を求めるものとする。ただし、やむを得ない理由がある場合については、担当者に対する照会等により意見を求める。

(4) 担当職員による居宅訪問頻度等

①提供開始月

②提供開始月の翌月から起算して 3 ヶ月に 1 回

③サービスの評価期間が終了する月

④利用者の状況に著しい変化があったとき

なお、利用者の居宅を訪問しない月においては、可能な限り、サービス事業所を訪問する等の方法により利用者に面接するように努めるとともに、当該面接ができない場合にあっては、電話等により利用者との連絡を実施する。

(5) モニタリングの結果記録 少なくとも 1 ヶ月に 1 回

(通常の事業の実施地域)

第 7 条 通常の実業の実施地域は、瀬戸市効範・水南連区とする。

(事故発生時の対応)

第 8 条 担当職員は、利用者に対する指定介護予防支援の提供により事故が発生した場合には速やかに市町村、利用者の家族等に連絡を行うとともに、必要な措置を講ずるとともに、管理者に報告しなければならない。

(その他運営についての留意事項)

第 9 条 センターは、担当職員の資質向上を図るための研修の機会を次のとおり設け、また、業務体制を整備する。

(1) 採用時研修 採用後 1 ヶ月以内

(2) 継続研修 年数回

2 担当職員は業務上知り得た利用者又はその家族の秘密を保持する。

3 担当職員であった者に、業務上知り得た利用者又はその家族の秘密を保持させるため、担当職員でなくなった後においてもこれらの秘密を保持すべき旨を、職員との雇用契約の内容に含む。

4 センターは指定介護予防支援の一部を指定居宅介護支援事業者に委託する場合には、適切かつ効率的に指定介護予防支援の業務が実施できるよう委託する業務の範囲や業務量について配慮する。

5 この規程に定める事項のほか、運営に関する重要事項は瀬戸市、センター管理者との協議に基づいて定める。

(虐待防止に関する事項)

第 10 条 事業所は虐待の発生またはその再発を防止するため、次の各号に掲げる措置を講じるものとする。

(2) 事業所における虐待防止のための対策を検討する委員会
(テレビ電話装置等を活用して行うことができるものとする)

る。)を定期的に開催するとともに、その結果について、担当職員に周知徹底を図る。

(3) 事業所における虐待の防止のための指針を整備する。

(4) 事業所において、担当職員に対し、虐待防止のための研修を定期的(年1回以上)に実施する。

(5) 前4号に掲げる措置を適切に実施するための担当者を置く。

附 則

この規程は、平成18年4月1日から施行する。

この規程は、平成23年4月1日から施行する。

この規程は、平成26年4月1日から施行する。

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

この規程は、平成30年4月1日から施行する。

この規程は、令和2年4月1日より施行する。

この規程は、令和3年4月1日より施行する。

この規程は、令和4年4月1日から施行する。